



令和6年度

大田区立徳持小学校

学校経営計画

大田区立徳持小学校 校長 山本 由美

「全ての子どもが笑顔で生き生きと学ぶ学校」の実現に向けて

学校の使命（プロとして教育に携わるものとしての使命）
未来を担う（未来を託す）子どもたちの可能性を高め、健やかな成長を支えること

「夢を育む感動体験」により

- ① もっとしりたい！もっと学びたい！という「好奇心」
- ② もっとできるようになりたい！もっとよくなりになりたい！という「向上心」
- ③ もっとみんなと共に活動したい！もっとみんなの役に立ちたい！という「公共心」を育み、確かな学力と思いやりの心を身に付けさせる。

目指す児童像

- すすんであいさつや返事ができる子
- 目標をもち、努力を続ける子
- 自他のよさを認め、自分も友達も大切にできる子
- 感謝の念をもち、自分にできることを返していく子

学校教育目標

社会構造や生活様式が急速に変化する「予測困難な時代」をたくましく生きる日本人とし、持続可能な社会の実現に向けて、多様性を理解・尊重し、自ら課題を解決する力や豊かな人間性、社会性の基礎を培う。

◇考える子 ◇やさしい子 ◇つよい子

目指す教師像

- 子供一人一人を大切にし、温かく熱意のある指導ができる教師
- 日々向上心をもち、授業で勝負する教師
- 子供の成長を喜び、教師としての職務にやりがいと誇りをもてる教師

目指す学校

ともだちみんなで くふうしあって もてる力を未来へ ちからいっぱい出せる学校

- ☆子供たちの笑顔と喜びがあふれ、活力ある誇れる学校・・・「すすんで学び、分かる・できる喜び」「関わる喜び・」「認められる喜び」「成長する喜び」が味わえる学校
- ☆保護者・地域が信頼をよせ、誇れる安心・安全な学校・・・安全管理が徹底され、いじめや不登校、体罰、服務事故のない学校。
- ☆教職員が誇りをもって生き生きと働く学校・・・子供の成長を共に喜び、切磋琢磨し合える教師集団が協働する学校。

かしこい子～キャリア教育の充実～

- ① 学習規律の定着（徳持スタンダードの徹底）
- ② 一人一台の端末の活用を推進し、児童に確かな学力（基礎的・基本的な学習）を定着
- ③ 新学習指導要領に基づく指導の充実（主体的・対話的な学習、地域や企業と連携した学習、プログラミング教育、職業に関わる教育）
- ④ 家庭・地域・企業と連携した学習の推進
- ⑤ 個に応じた指導 習熟度別指導（算数）問題解決学習・ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業 体験活動の充実
- ⑥ 理科指導専門員・理科支援員による科学教育の充実。
- ⑦ 外国語科専科（34年の外国語活動と56年の外国語科担当）配置
- ⑦ 保幼小中連携教育の充実、キャリアパスポートの活用。
- ⑧ 読書目標の設定（読書月間年に2回）
- ⑨ 家庭学習の習慣化

やさしい子～人権教育の充実～

- ① 児童を第一に考えた、心理的安全性の高い学年・学級づくり
- ② 規範意識の向上（徳持スタンダード・規範意識向上プログラムの活用）
- ③ 異学年交流（たてわり班活動・登校班・クラブ活動等）
- ④ 校内委員会を核とした特別支援委員会の充実
- ⑤ 幼稚園・保育園・中学校・高齢者との交流、障害者理解、異文化理解により心のバリアフリー
- ⑥ 定期的な「いじめアンケート」「いじめ防止対策委員会」による未然防止と早期発見・早期対応。
- ⑦ 生命尊重の指導、認め、ほめる指導による自他を大切にする心情・態度。
- ⑧ 自己肯定感、自尊感情の育成。

つよい子～健康教育の充実～

- ① 家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」月間 歯磨き指導
- ② 長縄、短縄、持久走（マラソン月間・校内マラソン）等全校取組、体育的活動の充実
- ③ 体育・健康教育授業地区公開講座の実施
- ④ 大田区小学生駅伝大会への取組
- ⑤ 都体力調査の実施
- ⑥ 保健指導・保健学習・学校保健委員会、がん教育による健康指導の充実。
- ⑦ 食への理解による食育の充実。

魅力ある教育環境づくり

安全・安心の向上

- かけがえのない大切な「いのち」であることの指導を徹底
- 常に災害時等の対応を念頭に置き、毎月の避難訓練・安全点検
- 薬物乱用防止教室・交通安全教室・セーフティ教室等の実施

特別支援教育の充実

- 特別支援委員会の充実（配慮を必要とする児童への組織的な対応、サポートルームの活用）
- 副籍児童との交流

教職員の資質向上

- 児童の人権を尊重し、共感的理解に基づいた指導で体罰根絶に努める。
- 日常的に遵法意識を徹底し、服務事故の防止に努める。
- 校内・校外の研修を通して、自己の課題の解決を目指すと共に、自己研鑽によって、自らの力量を高めていく。（「未来づくり科」研究推進校指定）
- 教育公務員（教育のプロ）としての自覚をもち、その場に合った対応や言葉遣い、服装に気をつけて、保護者の信頼を損なわないように常時心掛ける
- 教職大学院連携校として教員の資質向上を目指す

家庭・地域の連携

- ◆学校公開（学期一回）
- ◆学校運営協議会（地域学校支援本部）によるサマースクール等の実施
- ◆PTA・地域による地域行事への参加
- ◆学校防災活動拠点運営の支援
- ◆地域スポーツクラブ（TSA）との連携
- ◆教育相談の充実（関係諸機関との連携）